

♥夢サポートセンター

～共生と協働によるまちづくり～

1 はじめに

鹿児島県の大隅半島で生まれ育って、楽しく年を重ねています。

山や海の自然に恵まれた、「我がふるさと」は、人生のフィールドでもあります。

私の町では、ショッピングセンターや娯楽施設はありませんが、適当？な人口規模のために、住民の顔をほとんど知っているという田舎ならではの情報網が大きな武器であり、人情味あふれる人たちとイベントを楽しんでいます。

2 「人の役に立ちたい」という想い

ずいぶん前に、ある人から、「人の役に立ちたい」という話をその時は、何気なく聞いた記憶がありますが、最近になって「人の役に立ちたい」という気持ちが少しずつわかりはじめてきました。

おそろいの黄色いシャツを着て、踊ったり歌ったり、そしてボランティア活動をされている女性の表情は、いつもイキイキとされています。

周りを見てみると、子供たちが巣立って夫婦で老後のスタートを迎える方、ゲートボールだけではなく、何かためになることをやりたい方、それこそ団塊の世代の方も大勢います。また、保育や福祉、介護の専門的な技術を持つ方もいらっしゃいます。

一方では、子育て真っ只中のお母さん方は、学校や病院の都合などにより、子供の一時預かりをお願いしたいという声もあります。更には、自宅で介護をしているが、どうしても家をあけなければならないとき介護の面倒をみってくれる人がいればという声もあります。

このように考えていくと、「支援したい人」と「支援を受けたい人」を結ぶ仕組みがあったらと思われれます。

3 あなたの夢応援します

私の町でも合併により、これまでより、情報が伝わりにくいという声が聞こえます。

どこでどういうイベントが開催され、どういうグループの活動交流があるのかわからない。

また、市民にはいろいろな希望ややってみたいことがあります。

○ダンスを踊りたい。○読み聞かせグループに参加したい。○ボランティアをしてみたい。

○陶芸をやりたい。○炭焼きを体験したい。○人形劇をしたい。○余っている野菜を販売したい。

○特技のお菓子づくりを活かしたい・・・などなど。

これらの夢を応援することができたら、そして、みんなが「やりたい」と思っていることを実践できることが、楽しい人生を送ることになるのではないのでしょうか。

4 共生・協働による応援体制

これからは、共生・協働の時代といわれています。少子高齢化や限られた財源のなかで、「行政」と「民間」の多角的な協働によって公共的サービスが運営されていくというものです。

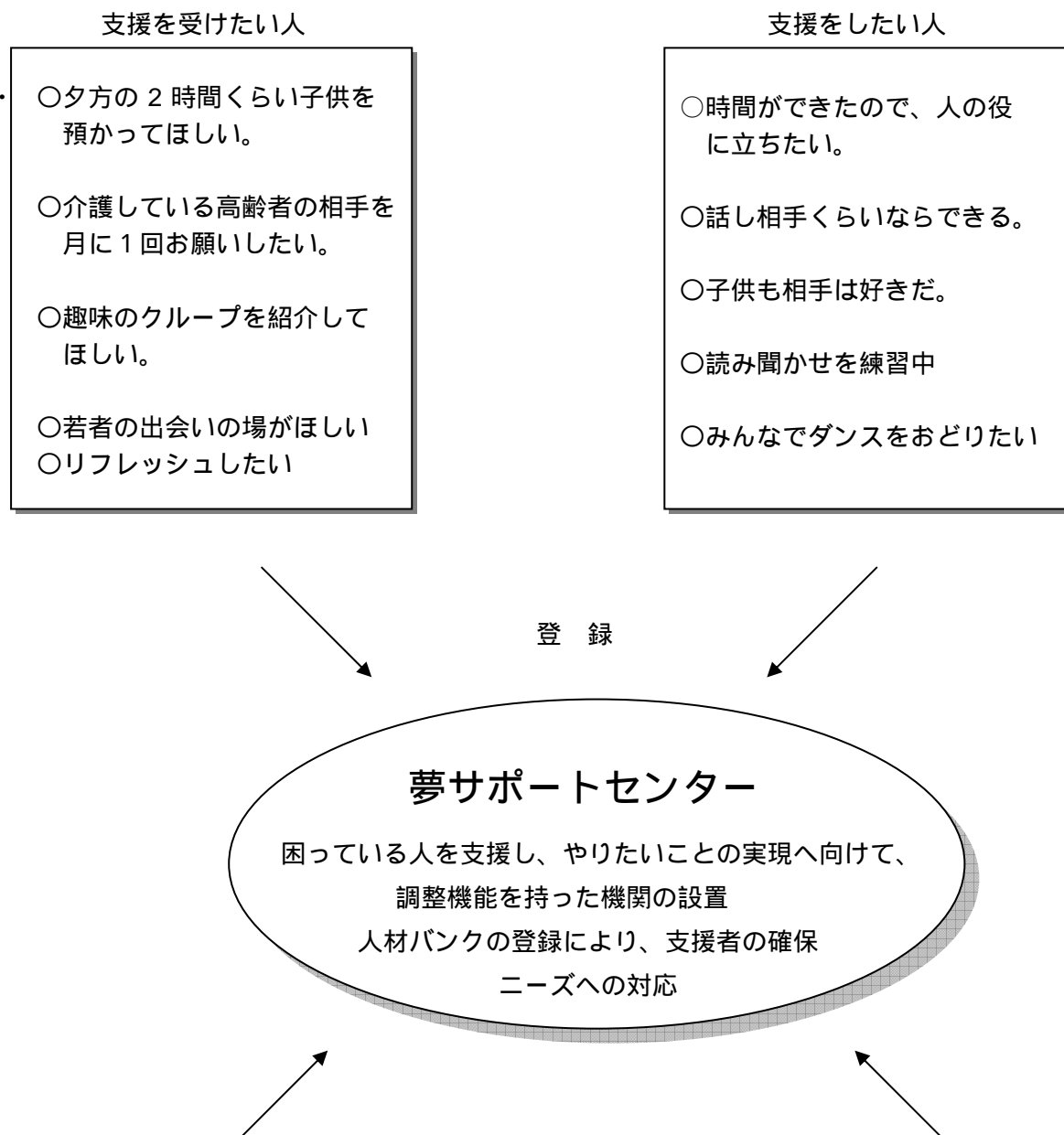
自分たちでできることは実践して、照会や紹介、調整などを行政にやってもらう体制づくりが必要であります。

5 夢サポートセンターの設置

市民の夢をかなえるために、市民ができること、行政ができることをそれぞれ役割分担しながら、お互いのいい関係をつくるのが、永続的な手法であります。

その実現へ向けて、「夢サポートセンター」を設置して運営をしていけたらどんなに楽しいことでしょう。

イメージ図



行政の関り方の整理

- 事務所の確保
- 人材バンク調査
- 情報誌の発行
- 行政内の調整

市民活動団体・NPOの協力

- 会員の登録
- 会社、企業の協力
- ボランティアスタッフ

6 サポートセンターの「夢」は広がる

合併により。町から市になり、人口も面積も企業も人材も大きくなりました。そして、それに合わせて夢も広がっていきます。

- 野菜の作り方を教えてほしい
- さつまいもの植え付けから初めて「焼酎づくり」まで体験したい
- バトミントンの練習をしたい
- 中学校になったら自分の夢の職業を市内の協力をもらって実際に職場体験をしてみたい。
- 市内の人材バンクを立ち上げて、人と人との交流を促進します。
- 市内のグループ同士の交流を促進します。
- 若者の出会いやあれあいの場をつくります。
- 子育て中のお母さんたちの交流のとします。
- 夢サポートセンター便りやホームページにより楽しい情報を発信していきます。
- フリーマーケットや不用品のバザー、物々交換などを実施し環境問題にも取り組みます。
- 夢サポートセンター自身を市民の「たまり場」にしていきます。

7 人生は楽しい

これまでの体験を振り返ると、「やりたい」と思ったことは、友達や協力者を得ながら実践できたということでもあります。そこには、昔の青年団時代のつながりや、田舎情報網による賛同者・協力者がいたからであります。そして、一緒に汗をかき、大いに笑いそして涙した数々のシーンは、大切な思い出と財産でもあります。

これからは、多くの仲間や青年団そして田舎の情報網の役割を「夢サポートセンター」が担ってくれるものになると思われま。

人生は可能性に溢れています。大人の私たちも、やれることはたくさんあります。

そして、大人の私たちこそが人生は楽しいということを証明して、子供たちに教えてあげることが大事だと思います。

8 さいごに

頼りにされること、役割があることは素晴らしいことです。たくさんの想いをみんなで共有して、協力していくことが大切であります。

そして、行政も市民も、子供も大人も、支援をする人も受ける人もみんなが楽しく参加することが最も大事なことであります。

人の笑顔はみんなを元気にしてくれます。

たくさんの笑顔あふれるまちに向けて、私たち大人が実践していきましょう。

